

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成29年度第2回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会
情報リテラシー・情報倫理分科会
分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成29年8月21日（月） 17：00～19：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、笈アトハイ、大原アトハイ、玉田主査、金子委員、本村委員(Skype)、
阿部委員、角田委員、渡辺アトハイ (Skype)
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

9月6日 ICT 戦略大会の分科会に向けて、発表内容の確認を行った。

1. 初年次教育における情報リテラシー教育モデル授業方略について

- ・ 情報リテラシー教育のガイドラインの説明から、到達目標ABCについて、到達目標Aでは、問題解決の枠組み理解を身近なテーマで体験させること、到達目標Bでは、より良いネット社会を築くための問題解決にチャレンジさせることの授業モデルを提案する。
- ・ 教育モデルとしては、問題解決のサイクルを何度も経験しながら学修するタイプと問題解決の各段階を丁寧に学修するタイプを提案する。
- ・ 様々な知識や情報を自分で関連付けて学ぶことが求められ、新しい知識をつくる上で関連付けが必要となり、不連続的な改革にはイノベーションや破壊的創造が必要になってくるとの意見があった。
- ・ 到達目標Cについては、到達点2モデル化とシミュレーションを目指して、資源・市場経済に関連させて興味ある対象のモデル作成と検証をさせることの授業モデルとして、反転授業をイメージした7分程度のビデオ教材を提案することにし、1本参考として事前録画し、当日ビデオを流すことにした。なお、到達点別に合計3教材を想定している。また、授業で学生の質問等に対応・ファシリテートが正しくできるか課題と考える。
- ・ 教育モデルの提案としては、到達目標A, B, Cそれぞれをイメージし、3コマ程度の想定でテーマのレベルを上げて提案してはどうかとの意見があった。

2. 情報リテラシー教育と専門教育との連携授業モデルについて

- ・ 文系（経済学）、理工系（機械工学）、医療系（薬学）、栄養系、被服系の5分野の授業モデルを提案する。
- ・ 提案は、各分野でテーマ、授業概要、授業の到達目標、学修活動の詳細と対応到達目標、評価を統一フォーマット資料として、発表することにした。薬学は、事前に説明をビデオ撮影して当日流すことにした。

V. 今後のスケジュール

- ・ ICT 戦略大会の参加者資料について今回の検討を踏まえて更新し、9月6日の分科会で発表することにした。